

オール電化の流れと蓄熱式暖房器

株式会社インターセントラル

1. はじめに

弊社は1974年の創業以来、電気暖房、遠赤外線暖房の分野で電気温水暖房器「インターサーモ」(写真1)や遠赤外線電気暖房器「グラスヒート」(写真2)を初めとして、人と快適空間の創造を心掛け、独自技術による高度な人にやさしい“あたたかさ”を追求してきた。その中で1992年には深夜電力対応の蓄熱電気暖房器「サンレッジ」(写真3)を上市した。

近年は省エネルギーへの関心も一層高まり、住宅性能も向上する中で、オール電化が全国的にも飛躍的に普及拡大しているため、今回オール電化の流れと蓄熱式暖房器について紹介する。

2. オール電化の流れ

2.1 国内のオール電化の推移

オール電化住宅*世帯数は2004年末で100万世帯(日経新聞2005年2月2日付)を超え、2007年3月末には200万世帯(産経新聞2007年5月5日付)、同年12月末では256万世帯(FujiSankei Business i. 2008/2/4)と急増している(表1)。

最近の原油高の影響が灯油価格などに直接的に現れるのも相まって、オール電化の流れを更に後押ししており、これに伴って蓄熱式電気暖房器の採用も増加している。

また、オール電化の大きな流れは新築住宅に留まらずリフォーム分野でも拡大し、2015年までには新築需要を上回る予測もなされている(富士経済ホームページ)。

※:オール電化住宅とは、厨房・給湯・暖房のすべてを電気エネルギーによってまかなう「ノンガス・ノンオイル」の住宅をいう。具体的には、厨房にはクッキングヒーター、給湯にはエコキュート(CO₂冷媒ヒートポンプ式給湯器)や電気温水器、そして暖房には蓄

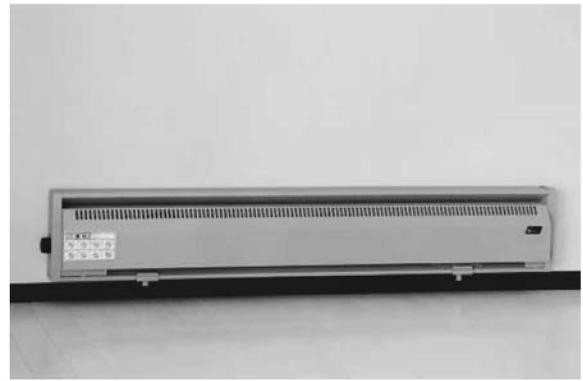


写真1 電気温水暖房器「インターサーモ」



写真2 遠赤外線電気暖房器「グラスヒート」

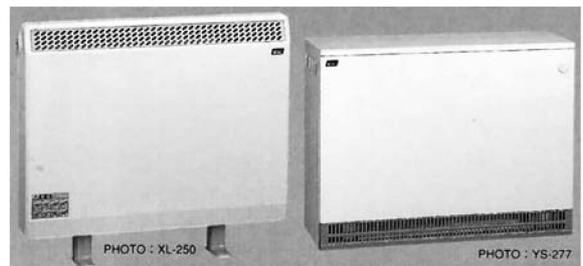


写真3 蓄熱電気暖房器「サンレッジ」初代XL・YS

表1 オール電化住宅の2007年12月末の普及状況

電力会社名	累計戸数
北海道	108,485
東北	148,952
東京	419,000
中部	366,600
北陸	126,106
関西	538,000
中国	303,036
四国	126,600
九州	410,000
沖縄	12,803
合計	2,559,582